

13 番 庄 野

議席番号 13 番、庄野京子でございます。

ヒアリンググループ（磁気誘導ループ）の導入を。

ヒアリンググループとは難聴者の聞こえをサポートするシステムです。海外（先進国）では公共施設や駅など、さまざまな場所に設置されています。日本でも少しずつ普及しつつあります。これは音声を磁気に変え、その磁気を補聴器や受信機が受けて音声として聞くことができます。

基本的には、あらかじめ床下などにはわせてループになるように敷設する。そのほかに持ち運びができる比較的安価な箱形アンプもあります。補聴器の中には「テレコイル」機能つきで磁気ループが備えられています。

高齢化社会が進み、年齢とともに聞こえが衰える「老人性難聴」になる人がふえています。70歳以上で過半数になると言われています。難聴になると家庭の中でも、社会的にも孤立しやすく、ひきこもりがちになり、認知症につながる心配があります。

ところが、我が国では難聴者への支援は極めて不十分です。本格的な超高齢社会に対応するためにも難聴者支援対策は重要課題ではないかと思えます。

そこで山北町でもこのように高齢者の窓口や町民の利用施設に移動式ヒアリンググループの導入をしていただき、難聴高齢者の生活を支えていただけるよう質問します。

失礼いたしました。訂正いたします。「人がふえています。70歳以上で約半数になると言われています。」これに訂正いたします。

議 長

答弁願います。町長。

町

長

それでは、庄野京子議員からヒアリンググループ（磁気誘導ループ）の導入をについての御質問をいただきました。初めに本町の聴覚障害者のうち、身体障害者手帳が交付されている老人性難聴も含めた高度難聴の方は、平成30年11月1日現在で43人です。現在、町では会話の聞き取りにくい方のために、役場1階窓口や健康福祉センターなどに音声を拡大する携帯助聴器や筆談用のホワイトボードを備え、相談事や各種申請時等に活用しておりますが、携帯助聴器は周囲の音まで拾ってしまうため、雑音の多いところでは聞き取りにくいこともあるそうです。

そこで、御質問の「高齢者の窓口や町民の利用施設に移動式ヒアリング

ープの導入をしていただき、難聴高齢者の生活を支えていただけるように」についてですが、ヒアリンググループとは、音声信号を磁気誘導アンプに通して磁気に変換したものをケーブルに電気信号として送り、磁気コイルつき補聴器などで音声信号として聞くことができるもので、周囲の騒音や雑音に影響されずに目的の音や声だけを聞き取ることが可能であります。

設置の形態としては、建物の施工時にあらかじめループ用ケーブルを床下に埋設する「常設型」、会議室等の必要な部分にループケーブルを設置する「移動型」、さらには、ループケーブルが内蔵された機器を卓上で使用する「対話型」などがあります。

「常設型」は、既存施設等に後から設置する場合には、多額の改修費が必要となることや使用できるのが設置場所に限られるなどの面から現時点での導入は難しい状況ですが、御質問の「移動型」や「対話型」であれば、改修工事も必要としないことなどから、他の自治体の導入事例や利用状況などについて、調査・研究を行い、検討していきたいと考えております。

議 長 庄野京子議員。

13 番 庄 野 まず、聞く側がテレコイルつきの補聴器であることが必要です。それにヒアリンググループで音声がきちんと届きます。補聴器使用の率は、欧米諸国が42%から30%なのに、日本は13%です。自己申告ですが、難聴者率はアメリカ10.6%、ドイツ12.5%、フランス10%、イギリス9.7%、日本11.3%です。日本補聴器工業会、補聴器メーカー10社とテクノエイド。ここは福祉用具の調査研究を進めています。

補聴器は決して安いものではありません。補聴器の購入に障害者総合支援法を、山北町独自の公的補助はありますか。高いのは購入を諦めてしまう人が多いのです。補聴器の満足度は先進国が80から70%に比べて、日本では半分以下の39%です。欧米では医療機関と国が連携して、難聴者それぞれに合った補聴器。

議 長 庄野議員、質問を簡潔に要領よく御尋ねください。御質問ください。

13 番 庄 野 販売管理者をおけば販売可能なインターネットで簡単に購入できてしまいます。難聴者はそれぞれに合った補聴器が購入できず、合わなくて使わなくなってしまう。たびたび調整も必要です。山北町にはシニア安心相談室、

補聴器に関してなどがあるようですね。はっきりしてきた難聴の原因は耳の血管の動脈硬化であることが、ここ数年はっきりしてきました。県内では、川崎市が3カ所。

- 議 長 庄野議員。
- 13 番 庄 野 はい。
- 議 長 再質問を明確に簡潔にお願いできませんか。
- 13 番 庄 野 簡潔に。
- 議 長 お聞きしたい内容を明確にお聞きできませんか。
- 13 番 庄 野 琉球大学名誉教授、耳鼻科、NPO沖縄難聴福祉を考える会、野田寛先生は、私たちは耳には左右よい左右1万個ずつ音を感じる血管があることに気をつけて、コレステロール中性脂肪が高いとドロドロの。
- 議 長 庄野議員。
- 13 番 庄 野 はい。
- 議 長 繰り返し申し上げます。議長の発言、御理解いただけますか。
- 13 番 庄 野 はい。
- 議 長 それでは、そのような形でお願いします。どうぞ。
- 13 番 庄 野 じゃあ、もう最終章でいきます。その中には、ヒアリンググループにはヘッドフォン型、通常のヘッドフォンと似ているので、音響かわりにコイルが入っています。補聴器の上から直接かけて使用します。首掛け型、首元のコード内にコイルが埋め込まれているのでネックレスのような形、首にかけて使うタイループとも呼ばれています。耳掛け型コイルがフックのようになっていて、耳掛け補聴器のヒアリングが人工内耳本来の。
- 議 長 庄野議員。発言内容を御自分で御注意して、質問を明確に簡潔にお願いできますか。
- はい、庄野議員。
- 13 番 庄 野 済みません。補聴器購入に障害者総合支援法や山北町独自の公的補助はありますか。
- 議 長 福祉課長。
- 福 祉 課 長 山北町独自のということでございますけれど、公的補助といたしまして、補装具給付がございます。こちらにつきましては、身体障害者手帳を持って

いまして、補装具が必要と判定を受けた方につきまして、自己負担は原則1割ということで、そのような補助がございます。

議 長 庄野議員、よろしいですか。

13 番 庄 野 はい。

議 長 再質問よろしいですか。

13 番 庄 野 はい。オーケーです。